

難民教育基金 (Refugee Education Trust - RET)

2009年6月

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）を支援するために2000年10月に設立された特定非営利活動法人である国連UNHCR協会は、UNHCRだけでなく難民教育基金の募金窓口も務めています。

郵便振替口座： 00110-4-54477

口座名： 「難民教育基金」

- 郵便局備え付けの払込取扱票をご利用ください。払込料金のご負担をお願いしています。
- 国連UNHCR協会を経由する寄付額の1割は、日本における広報や寄付者の方々への対応に使わせていただきます。（全額を基金へのご寄付とされたい場合は、後述の海外口座に直接送金し、ジュネーブのRET事務局と直接お付き合いいただくことも可能です。）
- 皆さまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。
- ホームページ (www.japanforunhcr.org) にも、難民教育基金に関する情報が掲載されています。

設立の経緯と目的

難民を保護する役割を担っている国連機関であるUNHCRは、難民に初等教育を提供している。しかし、おもに緊急事態に対処する機関なので、その後続く教育機会を同様に提供できるわけではない。

10代の難民の子どもたちの「勉強したい」という切実な叫びを受けて、緒方貞子第8代国連難民高等弁務官（在任1991-2000年）は、2000年12月15日、UNHCR

50周年記念事業として難民教育基金を設立した。スイス法人として独立した基金である。

難民教育基金は、より多くの難民の子どもたちに初等教育後の教育機会を提供し、地域の平和と発展に寄与することを目的とする。

組織

ジュネーブ（スイス）を拠点として、無給のメンバーによって構成される理事会と有給のスタッフによって構成される事務局がある。最初の2年間、2名のスタッフと事務所運営費は、UNHCRが提供した。

<事務局>

RET, the Foundation for the Refugee Education Trust

48, Chemin du Grand Montfleury

CH-1290 Versoix (Geneva), Switzerland

Tel. 41 22 775 0522 Fax. 41 22 775 0521

ホームページ: www.theRET.org

中・高等教育が重要な理由

- 若者に、職業に就くために必要なスキルを身に付けさせる。
- 子どもたちを、庇護国や自国の財産になるように導く。
- 昼間に子どもたちを勉強で忙しくさせることで、兵士にとられるとか、妊娠するとか、売春の犠牲になることを防ぐ。
- 平和教育を提供し、地域の平和と発展を促進する。
- 初等教育への就学者と修了者を増やす。
- 保健とエイズ予防に関する知識を提供する。
- 教師、マネジャー、トレーナーなどに訓練の機会を提供し、母国に戻った時に国の再建に貢献できるようにする。

- 仕事を見つけられるようにすることで、経済的理由から移民しようとする状況を緩和する。
- たとえ先進国への移民を選択した場合でも、その国での適応を容易にする。

主な事業

まずは中等教育に焦点を当て、職業専門教育は、資金が許せば追加する。プロジェクトには、以下の4タイプがある。

- 難民の生徒を受け入れている地元の学校を支援。
- 難民キャンプに学校を作り、支援。
- 教師の訓練施設、図書館、インターネットを利用できるIT教室などといったリソースセンターを提供。
- 地元の学校に通う生徒への奨学金。

支援の対象は、国外に逃れた難民だけでなく、国内で難民同様の状況に置かれている避難民を含む。援助対象者が逃れていた地域から故郷に戻り、その地域が安定し、開発機関などが必要な支援を引き継いでくれるまでは、難民教育基金の援助対象となる。

難民教育基金とUNHCR

UNHCRが、独立組織である難民教育基金に初等後の教育支援を託したのは、難民教育基金が以下のような長所を有するためである。

- 初等後の教育に支援対象を絞っている。
- 独立した組織として、ニーズに即した規準と手続きに基づいて柔軟に決定をくだせる。
- 複数年にわたる計画と予算によって、初等後の教育プロジェクトにとって不可欠な継続的支援を可能とする。

難民教育基金と UNHCR は、共通の目的と能力を備えている。

- 難民への人道的関与
- 現場での具体的な実績を重視
- 国際的な経験を積んだスタッフ
- NGO が援助を実施する時のパートナー

難民教育基金の事業を遂行する上で、UNHCR は以下を提供している。

- スタッフ、通信、輸送など幅広い現場でのリソース
- 教育プロジェクトが必要とされている場所に関する情報
- 地元でのコンタクト
- 地元での仕事の進め方に関する知識
- プロジェクトの進み具合の点検

プロジェクト

生徒の中・高等教育を支援するために、学校やリソース・センターの建設、校舎の修復、教材・文具・備品・制服等の提供、実験室や図書館の整備などを行っている。また、教師の訓練や報酬を提供することにより、教育の質の向上も図っている。難民教育基金のプロジェクトでは、特に弱い立場にある女生徒等に対する支援も積極的に行っている。

これまでにプロジェクトを実施した国は以下の通り。

アフリカ： コンゴ共和国、ギニア、タンザニア、ブルンジ、ケニア、南アフリカ、チャド、ウガンダ、スーダン、シエラレオネ
アジア： パキスタン、アフガニスタン
南アメリカ： エクアドル、コロンビア

これまでの歩み

- 2001 年 5 月、初代事務局長が就任。難民教育基金の活動が始まる。
- 2001 年 9 月、最初のプロジェクトが、タンザニア、パキスタン、ギニア、ウガンダ、シエラレオネの 5 か所で開始。
- 2002 年 9 月、最初の活動報告書の中で、学年度 2001-02 年に 22,000 人の難民の生徒を支援できたことを発表。
- 2002 年 9 月、コロンビアとスーダンのプロジェクト開始。
- 2003 年 7 月、第 2 代事務局長が就任。
- 2003 年 9 月、活動報告の中で、学年度 2001-2003 年に難民の生徒 39,186 人を支援したことを発表。
- 2004 年 10 月、ナイロビ事務所（ケニア）を開設し、周辺諸国でのプロジェクト支援を開始。
- 2004 年 12 月、パキスタン、タンザニア、コンゴ共和国、ギニア、南アフリカ、ケニアにて活動を実施中。
- 2005 年 1 月、エクアドルでコロンビア難民を対象とする援助を開始。
- 2005 年 9 月末までの学年度 2001-2004 年の累積として、難民の生徒 76,000 人を支援。
- 2006 年 9 月までの学年度 2001-2005 年の累積として、難民の生徒 123,932 人、教師 5470 人、教育センター 393 ヶ所を支援。
- 2008 年 9 月末までの学年度 2001-2007 年の累積として、難民の生徒 182,094 人、教師 8430 人、学校・教育センター 712 ヶ所を支援。

スイスの難民教育基金へ直接送金する方法

銀行名：

Bank Lombard Odier Darier Hentsch & Cie

銀行所在地：

Rue de la Corraterie 11-CH-1211 Geneva-Switzerland

米ドル口座名：

The Foundation for the Refugee Education Trust

口座番号： 39658

Swift Code： LOCYCHGG

※国際郵便振替を利用する場合にはスイスフランで受領されます。SIG Code（スイス郵政省用の銀行コード）：087609

※直接送金に関しては、念の為、ジュネーブ事務局にお問い合わせください。

